

2016年2月26日
JFE鋼板株式会社

戸建て住宅用太陽光発電モジュールと屋根下地鋼板の共同開発・拡販について

JFE鋼板株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小倉康嗣）は、シャープ株式会社（本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長：高橋興三）と共同開発した屋根下地鋼板を搭載した鋼板屋根材の拡販に取り組みます。

この鋼板屋根材は、シャープ製の高効率住宅用太陽光発電モジュール「BLACKSOLAR」を、屋根の端まで全面設置できるように設計されており、限られたスペースの屋根でも効率良く発電することが可能です。また、屋根との一体感向上により、優れた意匠性を実現しました。

昨年10月に、シャープ株式会社がBLACKSOLAR+この屋根全面システムで*グッドデザイン賞を受賞したのを契機に、ZEHを目指す地域ビルダーへの販促を強化し、年間200棟の販売を目指します。

尚、当商品はPV EXPO2016（2016年3月2日～4日、東京ビッグサイト）のシャープブースにて、展示予定です。

（受賞対象：住宅用高効率太陽光発電システム[BLACKSOLAR+ルーフィット設計+屋根全面システム]）

現在、国内の戸建て住宅太陽光発電を取巻く環境としては、新築住宅の施主様が、「売電＝省エネによる経済性」だけでなく「地球環境＝震災をきっかけにエネルギーの自立」に要望・関心を寄せられています。一方、政府は2020年に新設する戸建住宅の半数でエネルギー消費量をゼロにする計画を立て、家庭部門においては1年間での消費エネルギーより住宅で作ったエネルギーのほうが多くなる、またはその差がゼロになる「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）」の普及に柱を据えています。

このような環境下において、本製品は下記の4点を開発コンセプトとしております。

1. 発電容量アップ

屋根全面設置システムにより屋根の端までモジュールが設置できるため、売電のみならずZEH対応を視野に入れた狭い屋根での容量アップを可能としました。

2. コストパフォーマンス

工場ではプレカットされたPVモジュール専用下地鋼板を使用することにより工期短縮を可能としました。

3. 優れた意匠性

モジュールの高さに合ったケラバ板金によりモジュールと屋根との一体感アップを図りました。

4. 設計・発注管理・施工の簡素化

従来は屋根寸法を決めてモジュールレイアウト設計を行なっていましたが、本システムは屋根寸法をパターン化された中から選ぶことにより太陽光発電システムの設置

容量を算出し、モジュール、P V専用下地鋼板、周辺部材のシステムパックが自動的に決まることにより、地域ビルダーによるZ E H対応を容易にしています。

なお、本製品の商品構成はモジュールの機器保証と同等となる耐食性、耐候性に優れたフッ素樹脂鋼板を使用しており、色は太陽光電池モジュールと合わせたブラックとしました。また、屋根勾配は2.5寸～5寸まで0.5寸ピッチで対応しており、新築住宅の片流れ、差掛け屋根の住宅に限定しております。

当社では2015年3月より販売開始しており、2015年度は50棟の実績を上げ、2016年度は200棟の販売を見込んでおります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

J F E 鋼板(株) 住宅建材営業部営業室 下方 (03-3493-1560)

◆ P V シート 施工 写真



◆太陽光設置 竣工写真

